

午後 試験

問 1

出題趣旨

情報システムの役割の広がりや組込みシステムの普及に伴い、システムにはますます高い品質や性能の確保が求められている。システムの不具合は、組織内業務にとどまらず、社会生活にまで影響を及ぼす場合もある。したがって、システムの稼働時、利用時の様々な状況を想定して、不具合を事前に見つけ出すシステムテストは、重要な工程となる。

本問では、情報システム又は組込みシステムの役割や影響を踏まえた上で、システムの品質や性能が確保されていることを確かめるために必要なシステムテストの内容を理解し、その適切性を監査するための見識や技能について評価する。

問 2

出題趣旨

近年の情報通信技術の進展、ハードウェアやネットワークサービスの低廉化などによって、組織は膨大な電子データを保有することが可能になった。多くの場合、組織の電子データの中には、顧客の個人情報や組織の技術情報など、機密性の観点から厳重に管理しなければならないものや、生産・販売管理情報など、組織内の複数部署で共有して活用することが望ましいものが含まれている。

本問では、組織が電子データを安全に保護することと、有効に活用することを両立するために、システム監査人がシステム監査の手続とそれを踏まえた改善提案を通じて、どのような貢献ができるか、その見識について評価する。

問 3

出題趣旨

今日、多くの組織が IT コストの削減に取り組んでいるが、コスト削減額ありきで、削減に伴うリスクや将来的な影響について十分な検討が行われていない場合もある。その結果、コスト削減がシステム障害、情報漏えい、IT 部門の技術力・能力低下などにつながることも少なくない。したがって、IT コストの削減にかかわる監査では、削減目標の達成可能性、削減対象範囲や手法の適切性などの削減計画の実効性の評価に加え、削減計画の実施に伴って発生するセキュリティやサービスレベルの低下などのリスクについても評価することが必要である。

本問では、システム監査人として、IT コスト削減計画の実効性やリスクについて評価し、計画の実現に向けての問題点や改善案を提示するための知識や能力を有しているかを評価する。